

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2024年度 パフォーマンス向上会議情報(2024年5月16日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年5月16日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【地下水バイパス揚水井(No. 3)への土砂の流入について】 当社運転員が、地下水バイパス揚水井(No. 3)において、移送流量低下による警報が発生し揚水ポンプが自動停止したことを確認。 ポンプの出力を上げて同様に自動停止し、地下水の汲み上げができない事案が発生した。 井戸内調査を実施するため、ポンプの吊上げを実施。 カメラ調査により井戸内壁に損傷は確認されなかったが、井戸底部に土砂が堆積しているのを確認。 土砂を取り除いたが、その後同量の土砂流入が発生することが確認されたことから、当該揚水井内の土砂堆積部分の壁面に損傷があると判断し、改修方法について現在検討中。 なお、当該揚水井ポンプが停止しても、他の揚水井から地下水の汲み上げが来ており、地下水位が適切にコントロールできていることから、建屋内への地下水の流入抑制への影響はない。</p>	GⅢ	5月14日
2	<p>【雑固体廃棄物焼却設備の焼却炉(A)焼却運転中における自動停止について】 当社運転員が、雑固体廃棄物焼却設備の焼却炉(A)焼却運転中において、炉内圧力が高くなったことによる警報が発生し当該焼却炉が自動停止したことを確認。 その後、現場状況を確認したが、現場に異常がないことを確認。 また、焼却炉の他の運転パラメータ、モニタ指示値も異常がないことを確認。 なお、焼却炉(B)は運転中であり可燃物の焼却運転は継続している。 今後、原因調査を実施し、対応を検討。</p>	GⅢ	5月10日